

きらら



# 7月 えんだより



れいわ ねん がつ にち  
令和6年7月1日



体力や食欲が落ちたり、睡眠時間も不十分だったりして夏バテしやすい時期です。生活のリズムを整えながら、この夏も元気に乗り越えていきましょうね。

## 行事

1日(月)	身体測定
5日(金)	七夕☆彌
10日(水)	おはなし会(以上児)
11日(木)	おはなし会(未満児)
26日(金) ~27日(土)	お泊り保育(年長)
30日(火)	誕生会

・お泊り保育(年長)…山登りや、川遊びなどを計画しています。  
熱中症対策・安全対策をしっかりととりながら楽しい思い出を作りたいと思います。  
活動を十分楽しむ為にも前日はしっかりと睡眠をとり、朝食を食べてから登園して下さい。  
※ 26日(金)、ぞうぐみはらいおんの部屋に登園して下さい。  
※ 27日(土)の朝延長利用の方はぎりんぐみで受け入れを行います。ぞうぐみの部屋には入れません。

手く言ひのう段階

年齢があがると「できたこと」に対して褒められることが増える子どもたち。

(例) 繩跳び跳べてすごい、かけっこ1番ですごい…など。

たとえ〇〇ができなくても自分を見て・認めてほしい子どもたち。怒られるようなことばかりするなと思った時、途中でやる気がなくなった時など、こんなやり方を試してみてはいかがですか。褒められるときっとやる気が戻るはずです。

①できたことをほめる 「逆上がりできてすごい!」「片づけてえらい!」など

②途中まででも【頑張ったこと】をほめる

「鉄棒頑張ってえらい!(できなくても)」「途中まででも着替えてえらい!」など

③まずは【始めたこと】をほめる

「逆上がりの練習を始めてえらい!」「自分で着替えようとしてすごい!」など

④【始めようと思っていたこと】をほめる

「鉄棒の練習やろうと思ってたね、えらい」「着替えようと思ってたねえらい」など

⑤ただいてくれることを認めること

「一緒にご飯食べられて幸せ」「手をつなぐだけで幸せ」「いてくれるだけで嬉しい」など何かを頑張ってもできない時は『②途中まで頑張った事を褒める』それも難しい時は③のやり方で褒める…というように段階を下げて褒めます。そのくらいで褒めていいの?と思ってしまいそうですが、途中の段階で認められると次の意欲が湧いてきます。そして、⑤の存在そのものを認められることが1番大切で、その土台があると色々な事を乗り越えられる力がついてきますよ。

